

Value Integration

Lumadaの進化

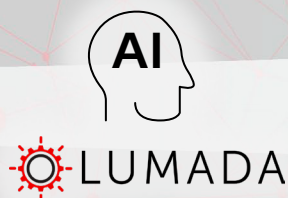
日立のドメインナレッジとAIにより さらに進化したLumadaでデータを価値に変換

社会インフラをドメインナレッジで
強化したAIで進化

デジタルケイパビリティ

ドメインナレッジ

インストールベース



データを価値に変換

デジタルサービス

ドメインナレッジ × AI

デジタルイズドアセット

インストールベースからデータを収集

エネルギー

鉄道

産業

公共

金融

...

日立の幅広いインストールベース（製品・システム）を、データや価値を生み出す資産「デジタルイズドアセット」と位置づけ、日立のドメインナレッジとAIを用いて、収集したデータを価値に変換する「デジタルサービス」を提供し、お客さまの課題解決に貢献します。Inspire 2027では、Lumada売上収益比率50%、利益率18%をめざします。また、長期に「めざす水準」として、Lumada売上収益比率を80%、利益率を20%まで高める「Lumada80-20」を設定しました。Lumada比率を向上させることで、日立の持続的な成長を実現していきます。

Lumada
売上収益/比率

3.0兆円/31%
Adj. EBITA率 15%

デジタルサービス

1.4
兆円

デジタルイズドアセット

1.6
兆円

2024年度

3.9兆円/38%
Adj. EBITA率 16%

1.8
兆円

2.1
兆円

2025年度

Inspire 2027

Lumada
売上収益比率 **50%**

Lumada
Adj. EBITA率 **18%**

2027年度

経営の長期目標

めざす水準

Lumada
売上収益比率 **80%**

Lumada
Adj. EBITA率 **20%**

Lumadaの進化—日立の強みを最大化する成長モデル

日立は、グローバルに広がる膨大なインストールベースと、ミッションクリティカル領域で培った深いドメインナレッジを活かし、デジタル技術を融合したLumadaを通じて、社会やお客さまの課題解決に取り組んでいます。自社単独の取り組みにとどまらず、お客さまとの協創や外部パートナーとの連携によりケイパビリティを強化するとともに、AIを活用して蓄積データと現場ナレッジの価値を最大化することで、日立ならではの事業展開を加速します。さらに、他社製品・システムにもサービスを提供することで、Lumada事業のTAM (Total Addressable Market) の継続的な拡大を図り、お客さまとの関係性を基盤とした継続性・安定性の高い収益モデルへの転換を進めています。

